



TERA Energy

～こころ豊かに、安心なみらいへ～

テラ・エナジーとは

僧侶がはじめた電力販売事業の会社

社名 TERA Energy 株式会社

設立 2018年6月11日

所在地 京都市右京区西京極堤外町

取締役社長 竹本了悟

資本金 1022万円

事業内容 ①社会貢献するお寺の支援

②再生可能エネルギーを主体とした電力販売

※現在は中国電力管内。今後は広げてゆく予定。





TERA Energy

おてらのでんきだからできること
よくある質問 お問い合わせ

活動内容・実績

📞 0120-598-116
(固定電話からフリーダイヤル)
📱 075-874-4851
(携帯電話から通話料有料)

© TERA Energy CO., LTD.

おてらのでんき
～こころ豊かに、安心なみらいへ～

2019.04.20

WEBサイトをリニューアルしました！[\[詳細はこちら\]](#)

私たちが抱えていた課題と経緯

地球の未来が心配。

支えあう地域を作れないかな

気候が極端。
暑すぎてみんな
イライラしてるみたい。

お寺で心なごむ時間を
提供できないかな

持続可能な社会になると
いいのにな。

地域の中心であるお寺を
もっと活用できないかな。

ご近所と適度な距離を
保ちながら
心ゆたかに生活できないかな。

お金が足りない。

お寺を守るのって
お金だけの問題ではない。
思いがないと護持できない。



私たちが抱えていた課題と経緯



2016年より気候ネットワークの
研究員さんを招いて勉強会
を開催。

- CO2の排出と発電が深く関係している。
- これからは再エネ、脱原発が主流になる。
- 2016年から誰でも電気を販売できるようになった。
- ドイツでは公共インフラを所有する自治体企業がある。



私たちが抱えていた課題と経緯

自分たちで
電力小売りの会
社をつくって、
お寺の未来、地
球の未来に寄与
しよう！



自分たちが納得
でき、お客さま
にも納得いただ
ける会社にしよ
う！



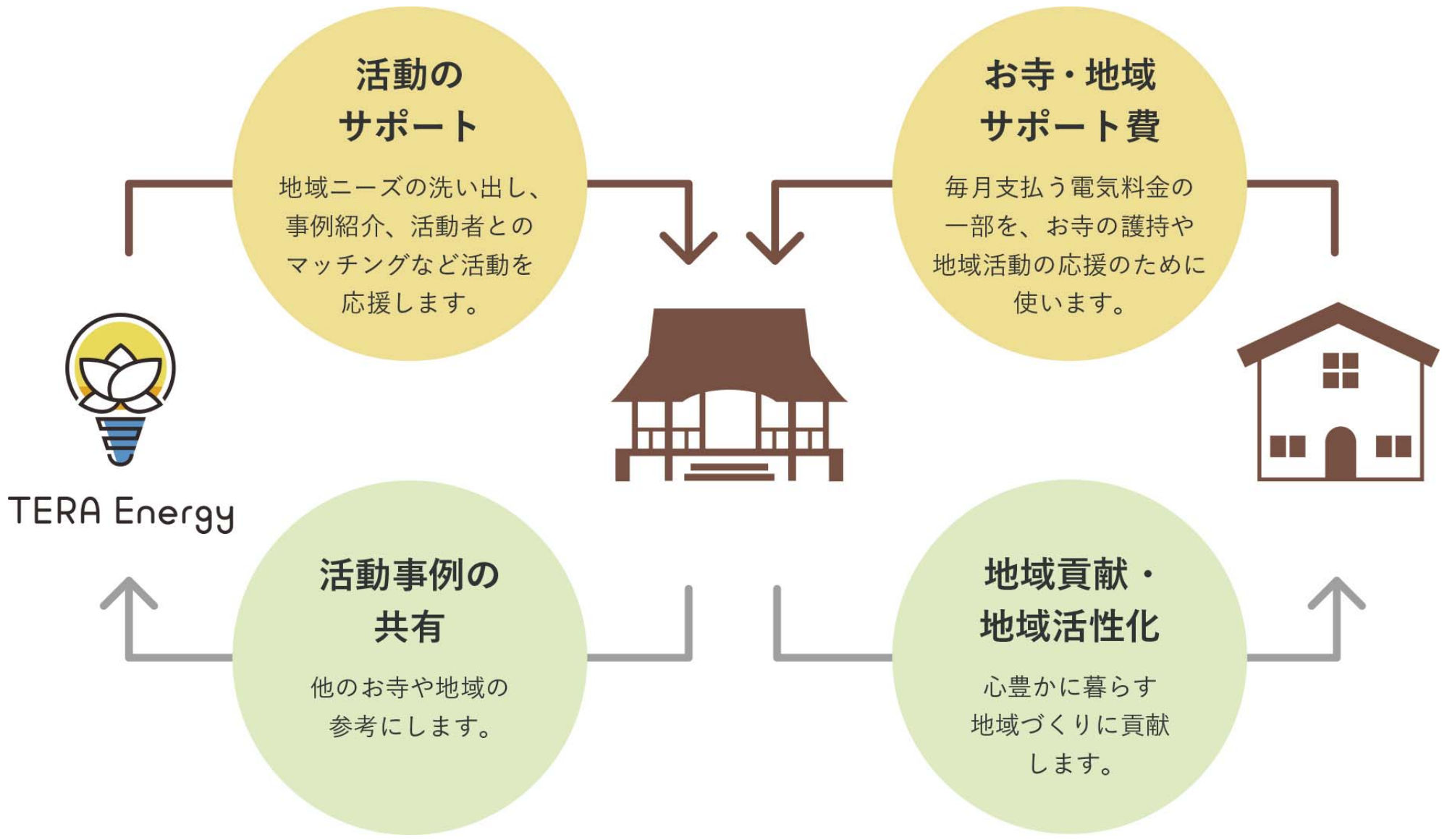
私たちのこだわり



地域とともに歩み続けるお寺をサポート

社会貢献するお寺、豊かなつながりを紡ぐお寺をサポートすることで、安心・安全な暮らしを守ります。

毎月支払う電気料金の一部を「ほっと資産」とし、お寺の整備や地域活動のために使います。





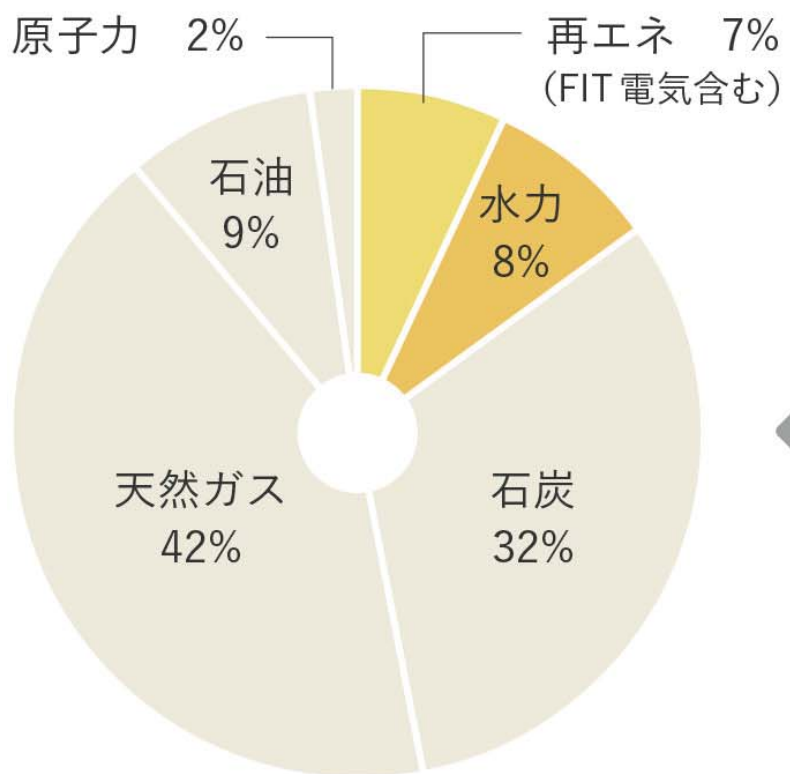
私たちのこだわり



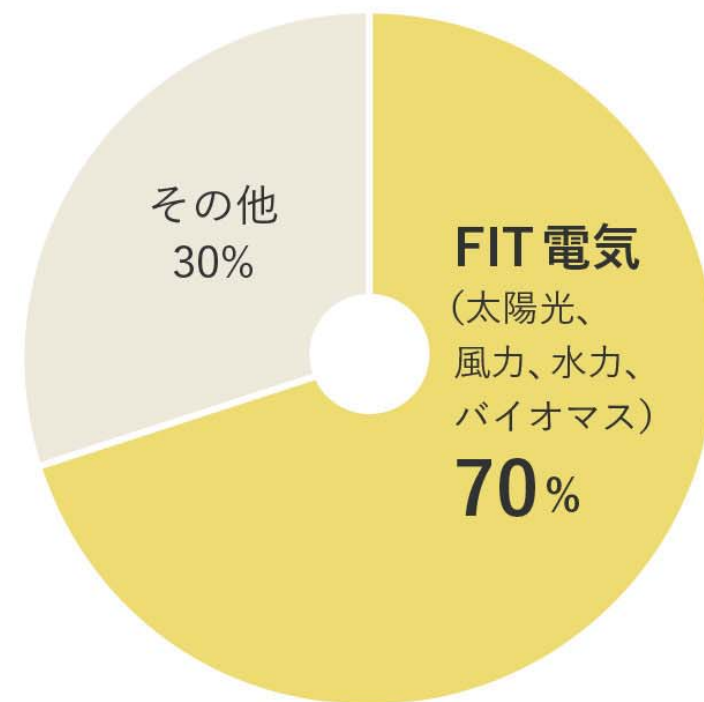
100%再生可能エネルギーへ

業界最高レベルの再生可能エネルギー（FIT電気含む）比率70%以上（計画値）で供給します。100年後の子どもたちの安心・安全な暮らしを守るために再生可能エネルギーを推進をします。

〈参考〉日本全体の電源構成
(2016年度)



おてらのでんきの電源構成
(2019年度計画値)





私たちのこだわり



リーズナブルな電気料金

おてらのでんきの電気料金 = (電気の原価※1+手数料) × 使用量 + 託送料※2

※1 原価：日本卸電力取引所の市場価格に連動して算出します。

※2 託送料：電気を発電所からお客様へ運ぶために、一般送配電事業者へ支払う料金です。

支払方法は2つ

①**変動支払プラン**：使った電気の量に従って翌月にお支払いいただきます。

②**安定支払プラン**：前年度の利用状況に応じて毎月決まった料金をお支払いいただきます。

今後：宗派を超えて

地球温暖化を防ぐために、人びとの安心・安全な暮らしのために、いまこそ私たち宗教者は一丸とならねばなりません。

TERA Energyは、少しでも沢山の方々に趣旨を丁寧にお伝えし、一人でも多くご賛同いただけるように努めます。

将来的には宗教を超えて、色々な宗教の方々とも共に取り組んでいきたいと考えています。



お寺によって課題はさまざま

「建物の修復をしたい」

「境内の剪定を業者に頼みたい」

「檀家の年会費の負担を減らしたい」

「今やってる盆おどりを継続したい」

「子供食堂を無料で開催したい」

「お寺でヨガ教室を開きたい」

…けど、できない

住職と檀家が話し合ってもらう場を設定



- 本音で語れる場づくり
- 「意外と!？」お寺は期待されている。
- それぞれの思いの違いがわかったあと、何ができるか話し合う。

→ 「寺域をよくしたい」という思いは一緒

具体的に何ができるか考える



広島県の山間部のお寺

- ・ 過疎化、高齢化
- ・ 60歳の住職が「若手」
- ・ 住職は兼業
- ・ 草引き、雪かきが課題
- ・ 「お寺は整備されていてほしい」

→ 「草引き、雪かきプラン」を検討中

具体的に何ができるか考える



広島市街地のお寺

- ・ 住職は民生委員、保護司
- ・ 地元の人々に会館を開放
- ・ 体操教室はお年寄りに好評
- ・ 運営費をどう捻出するかが課題

→ 「体操教室にかかる負担軽減」を検討中

具体的に何ができるか考える



- ・ 広島市の市街地にあるお寺
- ・ 住職が弊社の理念に共感
- ・ 檀家の代表を集めて説明会
- ・ 護持年会負担の軽減希望
- ・ 「電気の切り替え？」質問多数。「ようなるなら協力したい」

→スイッチングすれば護持会費負担ナシを実施予定

脱化石・自然エネルギー100%は世界の潮流



多くの国や地域、コミュニティ、団体や企業が自然エネルギー100%を宣言し、日本でも自治体、大学、企業が宣言している



世界に向けて発信

- タラノア対話において共有される国内外の優れた取組は、各主体が直面している課題を解決するための答えやヒントになりうるもの。
- そこで、TERA Energyでも世界初となる試みを世界に向けて発信し、脱炭素社会・自然エネルギー100%社会の実現に貢献するために「タラノア対話日本版プラットフォーム」に登録。

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

ストーリー

企業

世界初!超宗派の僧侶がエネルギー事業により『四方よし』の実現。お寺と地域で次世代の未来を創る。

脱炭素社会と再生可能エネルギー100%社会の実現を目指し、宗派を超えた仏教者の連携により、再エネを中心としたエネルギー売買を通じた社会還元型の電力小売り事業会社、TERA Energyを設立。その収益基盤を使ってお寺を通じた地域コミュニティを形成（門信徒以外の人々にも広く参画して頂く）、様々な地域の課題解決への貢献を目指す。さらにお寺を軸に活動することで、世代間の絆を強化しレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献する。宗教者のネットワークを通じて世界に発信することで、地球規模での波及効果を目指したい。

投稿者 TERA Energy株式会社（おてらのでんき）

詳細 [20181004-015.pdf](#) (PDFデータ、339KB)

掲載日 2018年10月4日